

| | | | |
|------------------------|--|---------|--|
| 1. 科目名 (単位数) | 保育カリキュラム論／保育・教育課程論 (2 単位) | 3. 科目番号 | SSOT3404 |
| 2. 授業担当教員 | 浅野 菜津子 | | SCOT3404 |
| 4. 授業形態 | 講義・演習 | 5. 開講学期 | 春期・秋期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | | | |
| 7. 講義概要 | <p>保育におけるカリキュラムの意義を示し、保幼小接続を念頭に置きつつ、その編成の仕方を実際の子どもの発達、生活に照らしながら理解する。保育は子どもの自発的な興味関心や個人差に応じて実践することを踏まえ、カリキュラムにおける全体的な計画の作成の意義を理解し、保育者の教育的意図を子どもの主体的な生活の中にどう反映したらよいか具体的に分かるように指導計画を作成する。</p> <p>さらに、実践においては子どもの実態に対応しながら計画の修正をどのようにするか、一日の保育の評価反省をどうするかを扱いながら、保育における計画性と偶発性の双方の意味の理解を深める。ボトムアップによる計画作成の方法を長期指導計画と短期指導計画との関連から理解するようにする。以上を通して、保育所保育指針、幼稚園教育要領等に示されているカリキュラムの考え方を正しく理解し、実践に結びつける力を養う。</p> | | |
| 8. 学習目標 | <p>1カリキュラムについての基礎的理解ができるようになる。</p> <p>2保育における計画—実践—評価(反省)の関係を理解できるようになる。</p> <p>3全体的な計画・教育課程と指導計画との関係、および長期指導計画と短期指導計画の関係を理解し、実践に結びつけることが出来るようになる。</p> <p>4長期指導計画、短期指導計画の立て方が分かり、一日の指導計画を作成する。</p> <p>5保育実践の反省の仕方がわかり、計画の修正への過程を理解できるようになる。</p> <p>6子どもの発達の把握と指導要録、保育児童要録の意義と書き方を理解できるようになる。</p> | | |
| 9. アサインメント(宿題)及びレポート課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の最後と事後学習の時間で小レポートを作成する。毎回の授業内容を振り返り、考えたこと、疑問、課題等をまとめること。授業への参加度は、グループ活動や演習の参加、授業内での学びや理解が小レポートの内容に反映されている等で評価する。 ・期末レポート課題の内容は指導計画・指導案に関する実践的なものとする。詳細は授業内に提示する。 | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>【教科書】</p> <p>安部孝編著『シリーズ保育実践につなぐ カリキュラム論 教育・保育の計画と評価』みらい</p> <p>文部科学省「幼稚園教育要領解説」フレーベル館</p> <p>厚生労働省「保育所保育指針解説」フレーベル館</p> <p>【参考書】</p> <p>河邊貴子編著『新3法令対応 幼児教育・保育カリキュラム論』東京書籍</p> <p>内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館</p> | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準</p> <p>1 全体的な計画・教育課程の目的内容及び、保育計画、指導計画の必要性を理解する。</p> <p>2 長期の指導計画、短期の指導計画の作成法と両者の関係を理解する。</p> <p>3 園の行事や日常の指導計画の立て方を理解することができる。</p> <p>4 実際に短期指導計画を作成できる。</p> <p>○評定の方法</p> <p>授業への参加度30%、小レポート・中間課題30%、期末レポート課題40%として総合的に判断する。</p> | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | <ul style="list-style-type: none"> ・事前、事後学習につとめ、積極的に意欲的な授業への参加を期待する ・大学生として節度ある態度で授業に臨み、疑問が生じたら積極的に質問すること ・指導計画の作成等ではグループワークを行うことがある。個々の役割を理解し、協力して積極的に発言し参加すること | | |
| 13. オフィスアワー | 授業時に提示 | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第1回 | オリエンテーション カリキュラムとは何か | 事前学習 | シラバスを読む |
| | | 事後学習 | 小レポート作成(次回授業時まで提出) |
| 第2回 | 教育要領。保育指針におけるカリキュラム | 事前学習 | 「教科書」第2章を読み、重要だと思ったところにアンダーラインを引く |
| | | 事後学習 | 小レポート作成(次回授業時まで提出) |
| 第3回 | 教育課程と全体的な計画 | 事前学習 | 「教科書」第3章を読み、重要だと思ったところにアンダーラインを引く |
| | | 事後学習 | 小レポート作成(次回授業時まで提出) |
| 第4回 | 長期計画と短期計画 | 事前学習 | 「教科書」第4章第1節を読み、重要だと思ったところにアンダーラインを引く |
| | | 事後学習 | 小レポート作成(次回授業時まで提出) |
| 第5回 | 指導計画の作成 | 事前学習 | 「教科書」第4章第2節を読み、重要だと思ったところにアンダーラインを引く |
| | | 事後学習 | 小レポート作成(次回授業時まで提出) |
| 第6回 | 「気になる子ども」への理解 | 事前学習 | 「教科書」第5章第1・2節を読み、重要だと思ったところにアンダーラインを引く |
| | | 事後学習 | 小レポート作成(次回授業時まで提出) |
| 第7回 | 「気になる子ども」と指導計画 | 事前学習 | 「教科書」第5章第3・4節を読み、重要だと思ったところにアンダーラインを引く |
| | | 事後学習 | 小レポート作成(次回授業時まで提出) |

| | | | |
|------|------------------------|------|------------------------------------|
| 第8回 | 指導計画と記録・省察 | 事前学習 | 「教科書」第6章を読み、重要だと思ったところにアンダーラインを引く |
| | | 事後学習 | 小レポート作成（次回授業時までに提出） |
| 第9回 | PDCA サイクルとカリキュラムマネジメント | 事前学習 | 「教科書」第7章を読み、重要だと思ったところにアンダーラインを引く |
| | | 事後学習 | 小レポート作成（次回授業時までに提出） |
| 第10回 | 指導計画の作成①：0歳児 | 事前学習 | 「教科書」第8章を読み、重要だと思ったところにアンダーラインを引く |
| | | 事後学習 | 小レポートの作成（次回授業時までに提出） |
| 第11回 | 指導計画の作成②：1・2歳児 | 事前学習 | 「教科書」第9章を読み、重要だと思ったところにアンダーラインを引く |
| | | 事後学習 | 小レポートの作成（次回授業時までに提出） |
| 第12回 | 指導計画の作成③：3・4歳児 | 事前学習 | 「教科書」第10章を読み、重要だと思ったところにアンダーラインを引く |
| | | 事後学習 | 小レポートの作成（次回授業時までに提出） |
| 第13回 | 指導計画の作成④：5歳児 | 事前学習 | 「教科書」第11章を読み、重要だと思ったところにアンダーラインを引く |
| | | 事後学習 | 小レポートの作成（次回授業時までに提出） |
| 第14回 | 指導計画の作成⑤異年齢児保育 | 事前学習 | 「教科書」第12章を読み、重要だと思ったところにアンダーラインを引く |
| | | 事後学習 | 小レポートの作成（次回授業時までに提出） |
| 第15回 | より良い指導計画作成のために まとめ | 事前学習 | 「教科書」第13章を読み、重要だと思ったところにアンダーラインを引く |
| | | 事後学習 | 子どもの育ちを支える保育カリキュラムについて、考えをまとめる |